

「2017年度立命館大学体育会リーダーズキャンプを終えて」

2017年12月16日、17日

執筆者：大石 佳慶

(長崎県 県立島原高等学校)

2018年度の立命館大学体育会を牽引していくリーダー（主将、主務、会計）が集まって行われるリーダーズキャンプが、立命館大学体育会本部主催の下、滋賀県今津サンブリッジホテルにて行われました。初日は、講演会や、これまでの体育会生活で感じてきたことを共有する会議、「強いチームとは何か」を考える会議の三つが行われ、2日目は、次年度の体育会のスローガンを考える会議、初日の講演会や会議をどのように部に還元するかの会議の2つを行いました。この中で特に印象に残ったことを何点か挙げさせていただきます。

まず初日の講演会では、2015年に大学日本一に導いたアメリカンフットボール部の主将田辺さんが講演をして下さりました。その中で、強く印象に残った言葉が2つあります。

1つ目が、「勝つチャンスは必ず来る。そのチャンスを掴むために毎日準備が出来ているか。」という言葉です。誰でも自分が出る試合の1、2週間前はやる気に満ち溢れていますが、試合がない時期は、練習がしたくないと思うものです。そのような時期だからこそ、試合で勝つための練習がしっかりと出来ているかということを自問自答し、部全体でより良い練習をすることが大切だと改めて気付くことが出来ました。

2つ目は、「笑うことが人生において大切。」ということです。どんな時でも笑顔でやり遂げることが出来る人・集団は、いきいきとしており元気で活気があるように感じます。厳しい稽古するときは、必ず苦しい場面が出てきます。そのような場面でも笑顔で乗り越えることが出来れば、その苦しい稽古もより良いものになるのではないかと思います。

次に2日間で行われた会議の内、印象に残った議題を挙げて締めくくらせて頂きます。その議題は「ツヨイ体育会とは何か」ということです。この会議では、「強い」ではなく「ツヨイ」という言葉でした。「大会で優勝することが出来る体育会がツヨイのか」という問いに、決してそうではないなと感じました。競技力を向上させるとともに周りの人と良好な関係が築くことができ、人間性を高めていける体育会が「ツヨイ」となりました。いわば「愛され成長することが出来る体育会」ということではないかと、私は思います。私たち剣道部も「愛され成長することが出来る体育会」になれるように、この2日間でリーダーズキャンプを部に還元していきたいと考えています。夏の関西・全日本で活躍できるように、人としても成長し、競技の面で結果が残せるように日々精進していきます。今後とも指導陣を始め、OB、OGの諸先輩方、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。